

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ
Theme

「水・環境プロジェクト
（琵琶湖学習）」

学校・園名
School name

甲賀市立甲南第二小学校
（5年生）

講師等
Lecturer etc.

株式会社コクヨ工業滋賀

実施日
Date

平成 24 年 5 月 17 日

教科等
Subject etc.

総合的な学習の時間

授業 Class

「琵琶湖のヨシについて」というテーマで、講師の方にお話をいただきました。お話の概要は、以下のとおりです。

- ・1977年に琵琶湖で赤潮が発生し、その原因が、家庭排水や農業廃水などであった。
 - ・ヨシという植物は、琵琶湖の水をきれいにしてくれる。
 - ・滋賀県では1960年頃、琵琶湖岸のヨシが半減したが、1992年に、ヨシ群落保全条例が制定された。
 - ・ヨシを守り、育て、活用するサイクル(ヨシの保全サイクル)が大切であり、ヨシを守り育てるためには、ヨシを刈り取る必要がある。その刈り取られたヨシを活用するために、ヨシのノートを作っている。
- お話の途中で、実際に、実物のヨシの長さ(約3m~5m)を見て、子どもたちはびっくりした様子でした。琵琶湖をきれいにするために、ヨシを使ってノートを作っている取組について学習しました。



感想 Impression

児童より Impression from Children

- 最初は、ヨシの形も分からなかったけれど、今は長さ・太さ・どこに生えているなどが分かりました。
- ヨシがそんなに大きいことも想像できなくて、本物を見せてくださったなら3m ぐらいの高さでびっくりしました。
- ヨシは何より琵琶湖を守ってくれて、人間はヨシを守ってすごいことをしているんだと思いました。
- ぼくは話を聞いてヨシを守ろうと思いました。
- 前は川などにゴミを捨てたことがあるので、次からは捨てないようにしたいです。
- ヨシに実際にさわるとツルツルでした。
- ヨシのノートを買いたいです。

学校より Impression from school

- 琵琶湖から遠い所に住んでいる子どもたちにとって、貴重な経験の場となりました。
- 実物大のヨシを見せていただいたことは、どの子どもたちも目をキラキラさせながら驚いていました。この学習を通して、身近にあるヨシ製品(ノートやすだれ)を探そうとしたり、人の力でヨシを守り育て、活用することの大切さを意識したりしていました。普段、植物を大切にすることは、残すと考えがちですが、ヨシの場合は刈ることが大切という新しい視点が持てることもよかったです。

講師より Impression from lecturer

- 子どもたちは、話をしっかり聞いて、真面目に取り組んでいました。無邪気な子どもたちとふれ合えて、楽しかったです。児童のみなさん、これからも、琵琶湖に興味を持って、学習してください。